

平成24年5月29日
11時30分現在
消防庁災害対策室

新潟県南魚沼市^{かけのうえ}欠之上 ^{はっかとうげ}八箇峠 トンネル爆発事故（最終報）

1 概要

- (1) 発生日時（覚知日時）
平成24年5月24日（木）10時25分頃
（10時30分南魚沼市消防本部覚知）
- (2) 発生場所
新潟県南魚沼市欠之上 八箇峠トンネル
- (3) 発生状況
工事中のトンネル（2,840m）の入口から1,200m付近で爆発事故が発生。

2 被害状況

死者 4人
負傷者 3人（中等症）

3 消防機関の活動状況

- (1) 5月24日
 - ア 南魚沼市消防本部 延べ8隊46人
 - イ 県内応援消防本部
 - ① 新潟市消防局 延べ4隊15人
 - ② 長岡市消防本部 延べ4隊11人
 - ③ 魚沼市消防本部 延べ1隊3人
 - ④ 十日町地域消防本部 延べ1隊3人
- (2) 5月25日
 - ア 南魚沼市消防本部 延べ7隊28人
 - イ 県内応援消防本部
 - ① 新潟市消防局 延べ3隊15人
 - ② 長岡市消防本部 延べ2隊11人
 - ③ 魚沼市消防本部 延べ1隊3人
 - ④ 十日町地域消防本部 延べ2隊8人
 - ⑤ 燕・弥彦総合事務組合消防本部 延べ2隊7人

- ⑥ 小千谷消防本部 延べ1隊5人
- ⑦ 柏崎消防本部 延べ2隊5人
- ⑧ 三条消防本部 延べ2隊7人
- ⑨ 新発田地域広域事務組合消防本部 延べ2隊6人
- ⑩ 上越地域消防事務組合消防本部 延べ2隊6人

(3) 5月26日

ア 南魚沼市消防本部 延べ5隊33人

イ 県内応援消防本部

- ① 新潟市消防局 延べ5隊10人
- ② 長岡市消防本部 延べ3隊11人
- ③ 魚沼市消防本部 延べ2隊5人
- ④ 十日町地域消防本部 延べ1隊5人

- ⑤ 燕・弥彦総合事務組合消防本部 延べ2隊5人
- ⑥ 小千谷消防本部 延べ3隊5人
- ⑦ 柏崎消防本部 延べ2隊5人
- ⑧ 三条消防本部 延べ1隊5人
- ⑨ 新発田地域広域事務組合消防本部 延べ1隊6人
- ⑩ 上越地域消防事務組合消防本部 延べ2隊6人
- ⑪ 加茂地域消防本部 延べ1隊5人
- ⑫ 見附市消防本部 延べ2隊5人
- ⑬ 阿賀野市消防本部 延べ2隊5人

4 DMAT（災害派遣医療チーム）の活動状況

(1) 5月24日

十日町DMAT 4人

(2) 5月25日

長岡DMAT 5人（同日7時30分に十日町DMATから引き継ぎ）

5 活動環境の状況

別紙のとおり

6 消防庁の対応

新潟県に対し、適切な対応及び被害報告について要請するとともに管轄消防本部である南魚沼市消防本部に被害状況の問い合わせをした。

対応状況は次のとおりである。

5月24日

- 10時55分 南魚沼市消防本部から第1報受領
「高規格道路トンネル内で爆発事故、負傷者7人以上」
消防庁国民保護・防災部参事官を長とする災害対策室設置
- 11時50分 南魚沼市消防本部から第2報受領
「傷病者3人搬送中」
- 12時35分 南魚沼市消防本部から第3報受領
「救助隊5人及び工事関係者1人がトンネル内に進入」
- 13時50分 南魚沼市消防本部から第4報受領
「救助隊5人及び工事関係者1人トンネル内より退去」
- 14時40分 南魚沼市消防本部から第5報受領
「長岡市消防本部4人、南魚沼市消防本部9人、工事関係者1人トンネル内進入」
- 16時12分 南魚沼市消防本部から第6報受領
「新潟市消防局6人、南魚沼市消防本部7人、工事関係者1人進入開始作業時間90分予定」
- 17時42分 南魚沼市消防本部から第7報受領
「トンネルの入口から900m地点の酸素濃度13.7%、可燃性ガス濃度43%、硫化水素濃度28.5ppm」
- 20時04分 南魚沼市消防本部から第8報受領
「長岡市消防本部のガス検知器を使用しガスの種類の特定作業に入る。」
- 20時36分 南魚沼市消防本部から消防庁に対し、可燃性ガスの対応方法に関する助言のための専門家の派遣要請
- 21時04分 南魚沼市消防本部から第9報受領
「検知した結果、ホスゲン及び水素に反応」
- 22時40分 可燃性ガスの専門家である消防大学校消防研究センター職員1人及び消防庁職員2人を現地派遣

5月25日

- 2時51分 消防大学校消防研究センター職員1人及び消防庁職員2人が南魚沼市市役所到着
- 3時10分 南魚沼市消防本部から第10報受領
「4人(確定)がトンネル内に取り残されている。」
「救助隊が風管を坑口から400mまで延長」

- 9時10分 南魚沼市消防本部から第11報受領
「救助隊が進入し一酸化炭素濃度を測定」
- 12時45分 南魚沼市消防本部から第12報受領
「新潟県広域相互応援協定に基づき11時35分に救助隊（新発田地域広域事務組合消防本部、上越地域消防事務組合消防本部）を要請」
- 18時00分 追加派遣された消防大学校消防研究センター職員1人が現地に到着
- 18時17分 南魚沼市消防本部から第13報受領
「15時37分に新発田地域広域事務組合消防本部、上越地域消防事務組合消防本部が到着」

5月26日

- 9時30分 南魚沼市消防本部から第14報受領
「南魚沼市役所爆発事故調整本部から新潟県広域相互応援協定に基づき加茂地域消防本部、見附市消防本部及び阿賀野市消防本部への増強要請」
- 10時00分 現地派遣職員からの報告
「風管延長右側（A管）600m、左側（B管）300mまで延長済。300m付近に使用資機材を集結させ、拠点とする予定。風管の延長を継続し、活動環境の改善を図る方針。」
- 13時15分 南魚沼市消防本部から第15報受領
「12時32分に加茂地域消防本部、見附市消防本部及び阿賀野市消防本部が到着。」
- 15時10分 南魚沼市消防本部から第16報受領
「14時14分 進入隊が1,000m付近到達。
可燃性ガス30%LELのため退避。」
「1,050m付近の環境測定結果
酸素16%、可燃性ガス30%LEL、硫化水素8ppm、一酸化炭素測定不能。」
- 17時00分 現地派遣職員からの報告
「風管延長右側（A管）620m、左側（B管）450mまで延長済。450m付近に使用資機材を集結。」
- 20時10分 南魚沼市消防本部から第17報受領
「17時50分 送気ライン延長作業のため進入。」

5月27日

- 0時15分 現地派遣職員からの報告
トンネル入口から1300m付近において要救助者4人を発見。
- 1時00分 南魚沼市消防本部から第18報受領
「5月27日午前0時21分要救助者4人発見した模様。詳細不明。」
- 4時06分 現地派遣職員からの報告
トンネル内進入開始。
- 4時50分 南魚沼市消防本部から第19報受領
「4時06分 25人進入開始。」
「4時36分 搬送隊39人進入開始。」
- 5時58分 南魚沼市消防本部から第20報受領
「5時40分 傷病者1人搬送開始。」
「5時53分 傷病者1人搬送開始。」
- 6時15分 南魚沼市消防本部から第21報受領
「5時40分傷病者1人目搬送開始、6時05分搬送先到着」
「5時47分傷病者2人目搬送開始、5時58分搬送先到着。」
- 6時35分 南魚沼市消防本部から第22報受領
「5時53分傷病者3人目搬送開始、6時19分搬送先到着」
「6時04分傷病者4人目搬送開始、6時35分搬送先到着」
- 9時00分 国道253号八箇峠トンネル内爆発事故調整本部からの情報
病院へ搬送された4人について次のとおり死亡が確認された。
「搬送1 県立六日町病院 6時09分」
「搬送2 齋藤記念病院 6時08分」
「搬送3 ゆきぐに大和病院 6時24分」
「搬送4 ゆきぐに大和病院 6時39分」
- 9時00分 南魚沼市総務部総務課からの情報

「国道253号八箇峠トンネル内爆発事故調整本部（南魚沼市設置）を5月27日7時55分をもって解散。」

14時35分 災害現場に派遣していた消防庁消防研究センター職員2人及び消防庁国民保護・防災部職員3人が帰庁。

5月28日

12時00分 南魚沼市消防本部からの情報
消防活動等に関するマスコミへの説明会を終了し、南魚沼市消防本部における事故対応体制を完了。

5月29日

11時30分 消防庁における一次応急体制として設置していた災害対策室を廃止。

かけのうえ はっかとうげ
 新潟県南魚沼市欠之上 八箇峠 トンネル爆発事故 別紙

○トンネル内環境状況

(5月26日 7時51分現在)

トンネル入口からの距離	酸素 (%)	硫化水素 (PPM)	可燃性ガス (%LEL ^{※1})	一酸化炭素 (PPM ^{※2})
50m付近	正常	正常	正常	350
170m付近	17.2	1.3	10	110
200m付近	16.5	6.3	20	10
250m付近	16.2	6.2	24	82
400m付近	14.1	1.6	30	82

出典：南魚沼市消防本部からの報告

(5月26日16時00分現在)

トンネル入口からの距離	酸素 (%)	硫化水素 (PPM)	可燃性ガス (%LEL ^{※1})	一酸化炭素 (PPM ^{※2})
450m付近 (11時28分現在)	20.8	0.5~1	7	215
1,050m付近 (14時14分現在)	16.0	8	30	測定不能

出典：新潟県消防課からの報告

※¹LEL (Lower Explosion Limit)

気体が爆発する可能性がある空気中の濃度の下限値に対する比率

※²PPM 100万分の1率